

# 夏祭り

青山千夏

しゅわりと弾けた

ラムネの音

鮮やかで綺麗な

浴衣姿の君

今日は最後の夏祭り

僕は君を誘った

どうしても

最後を一緒に

過ごしたかったから

僕にしてはよく誘えた



それだけで泣きそうだ

射的に金魚すくい

わたあめにクレープ

いか焼きにとうもろこし

君がそれにつられるのは

ちよっと寂しいけれど

一緒にいられるだけで充分だ

君に似合うものは

盛り上がる話は

そんなことばかり考えて

もう話題も尽きてしまった

僕はわかつている

気付いているんだ

他の言葉は無いってこと

突然空に咲いた

大輪の花

その大きな音に驚いて

ふと顔を見合わせて笑った

今なら言えるかも  
勇気を出して拳を握った

頑張ってた

その二文字の言葉は

花火の音に

かき消された

君の頬が

赤く染まっているのは

花火と夏の暑さのせいだろうか